

おもいやり通信

発行: 社会福祉法人 清水保育園
幼保連携型認定こども園 清水こども園
発行日: 令和8年7月27日

第57号



暑い日が続き、熱中症の対策で様々な活動に制限がありますが、こんな時こそ「**思いやりの心**」を大切に、お互いが協力して助け合っていくことが必要だと思います。園生活においても、ありがたい、だいじょうぶ等の声が自然と聞こえてきます。思いやりの心は、子どもたち、職員、ご家族の皆様等、園に関わる全ての人たちの心をつなぎ、みんなを元気にしてくれる幸せの魔法だと考えています。

今年度のメイン活動

<おもいやりハートづくり> 心を込める・心を送る活動展開



ご家庭へのお願い

《思いやりハートオーナメント》

思いやり集会が行われる週を思いやり週間とし、ハートの提出を呼びかけます。(年3回) 子ども自身が選んだ色の折り紙を使用し、基本思いやり集会当日に子どもたちが折れるところまで折り、夕方、個人の専用の袋に入れて保護者へ渡します。保護者が続きを折り進めハートを完成させ、ハートに心を込めたメッセージを記入して1週間の間に提出していただきます。最終的に卒園式会場へ飾る予定です。



クラス活動

《思いやりカレンダー》

その日のおもいやりをハートに記入し貼る。(帰りの会や1日の中で振り返る) 集会で内容を発表し、見せ合い意欲を高め合う。基本5~6月「てつだう」7月~10月「はげます」11月~3月「ありがとう」

<おもいやりテーマ> **てつだう・はげます・ありがとう**について
年間を通して実践していきましょう

思いやり3原則(手伝う・励ます・ありがとう)

- ① 手伝う(他の人のために 喜んで手伝おう)
- ② 励ます(元気づけよう、応援しよう、優しい心を送ろう)
- ③ ありがとう(感謝の心で ありがとうを伝えよう)

令和8年度 第1回思いやり集会を開催

思いやり集会で思いやり3原則を再確認

令和8年6月22日(月)に今年度初めての思いやり集会を行いました。園長先生の話の後、思いやりテーマソング「おもいやりのうた」を歌い、各クラスから思いやり行動の発表等を行いました。その後、今年度は「子どもの権利」をテーマにした「あたりまえ認定」のDVD「これってカワイイ?ヘン?」をみて、6月のテーマの「てつだう」についても子どもたちと話し合いをし、子どもたちから色々な言葉がでてきました。

※各クラスの話合いの様子は裏面をご覧ください。



幼児のお手伝いには親の忍耐力が必要

ある年齢別のお手伝いの調査では「親がやった方が早いから」「教えるのが大変だから」などの理由で、お手伝いをあえてさせていない家庭もあることがわかりました。

例えば、洗濯物を畳む際、綺麗に畳めなかったり、逆に散らかしてしまったりすることもあります。大人がやってしまった方が早いことは確かですが、子どもは試行錯誤を通じて学びます。親は子どものお手伝いを見守り、辛抱強く対応することで、成長を促すことが可能になるといえるでしょう。

子どもがお手伝いをしている最中に手を出したくなるかもしれませんが、可能な限り見守ることが大切です。親はあくまでサポート役として、子どもが自主的に行動できる環境を作りましょう。子どもは「自分でできた」と感じることで自信を持ち、次回も積極的にお手伝いをしたいと思うようになります。



<幼児期に子どもにお手伝いを任せるメリット>

- ◆ 自己肯定感が向上する
- ◆ 責任感が育つ
- ◆ 親子のコミュニケーションがはかれる
- ◆ 手指の巧緻性が向上する
- ◆ 自分で考えて動く力が身につく



<子どもの「お手伝いしたい!」という気持ちを作る工夫>

- ◆ 声掛けを工夫する
- ◆ シンプルな内容にする
- ◆ 子どもが興味のある物事に関連させる
- ◆ 先回りせずに見守る
- ◆ 年齢や発達に合ったお手伝いを頼む
- ◆ 感謝の気持ちをしっかり伝える

感謝



各クラスの思いやりについての紹介

<ひよこ組0歳児>
0歳児のお友だちの手伝う・・・どんなことがあるかなと考えた時、「ニコニコな笑顔で登園してくれている事!」「パパママではない大人から離乳食を食べさせてもらい、パクパクたくさん食べてくれている事!」「お仕事に行くパパとママの為に子ども園で頑張ってくれている事!!」これらすべての事を、大好きなパパとママの為に頑張ってくれているんだ!! これぞ立派な♡お手伝い♡と考えました(*^*) おやつも離乳食も、ほとんど残すことなく、おかわりを喜んで食べてくれるみんなです。いつも笑顔で頑張ってくれるみんなありがとう!!

<ひよこ組1歳児>
少しずつお友達への興味が出てきて、一緒に遊ぼうとするなど関わりが見られるようになってきました。泣いていると、顔を覗き込んで心配したり、頭をなでたり、自分達で出来る事を考えて優しさをもって行動する姿が小さいながらにたくさん見られます。これからも、そんな温かな気持ちがたくさん芽生えていくひよこ組さんになっていけたらと思います。

<りす組>
思いやり集会後、「可愛いや格好いいが一緒じゃなくて良いんだよ」という事を、ぬいぐるみやカラー帽子を使って知らせると、真剣に聞いてくれていた、りす組さん😊👉生活の中でも、「可愛いでしょ💖」や「格好良いでしょ🌟」が飛び交っています!!
また、お友達の関わりの中で、不安になっているお友達や、泣いているお友達の事を心配したり、「一緒に行こうね」と手を繋いで誘ったりと、思いやりの心が芽生えてきているりす組さんです👉1人1人の思いや気持ちを大切にしていこうと、改めて感じる事が出来た思いやり集会になりました💖

<うさぎ組>
思いやり集会を通して「みんな一人ひとり違っていいんだよ」と改めて気付くきっかけとなり「自分の好きなもの、自分を大切にしていこうね」と子どもたちと話をしました。自分を大切にすることから相手も大切にすることが生まれ、思いやりの気持ちを一緒に育んでいけたらいいなと思います。思いやりハート作りでは、好きな色の折り紙を選びハート作りに挑戦! 難しさもありましたが、最後まで諦めずに折ることができたうさぎ組さん。完成すると嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。

<くま組>
思いやり集会で、「これってカワイイ?ヘン?」のビデオを観た後、クラスで話し合いをしました。ビデオでは身に付ける好みの違いがテーマでしたが、クラスでは好きな色をテーマにしました。それぞれ、好みがあって良い事。相手の好みを否定しないで、認め合うにはどのような言葉が良いか?子どもたちに聞くと、「私はピンクが好きだけど、青も良いよねって言うといいんじゃない?」という発言が出て、感心しました。発言を受けて、自分は好みじゃなくても、お友だちは「好き♡」という気持ちを大切にしていけるように思いました。これからも、互いの思いや考えを認め合う思いやりの心が育まれていくよう、ふわふわ言葉が聞かれた時は、皆で優しい気持ちや嬉しい気持ちを共有し、ちくちく言葉が出た時は、皆で考え、今年も思いやりの花を咲かせていきたいです。

<ぞう組>
進級し、清水こども園で一番年上となったことで、年下の子に思いやりを持って関わる姿が多く見られるようになりました。特にお当番が回ってくると、積極的に当番活動に取り組む様子も。当番の仕事が終わると、保育教諭等の手伝いも進んで行ってくれるため、いつも子どもたちに助けられています。今後も子どもたちの気持ちを大切に、思いやりがクラス内に広がっていったらと思います。

<ぱんだ組>
思いやりのハートに記入した、子ども達の思いやり行動を、一人一人に伝えと、なんだか恥ずかしそうな表情を見せてくれた子ども達でした。異年齢で過ごすクラスでの思いやり行動や言葉が、増えていくような生活を心掛けていきたいと思っています。

これってカワイイ?ヘン? 3分29秒

主人公のみーがいつも被っている帽子が“カワイイ”か“ヘン”かというエピソードを通して、感じ方が一人ひとり違うことはあたりまえだと気づく物語。「個性を価値あるものと感じ、尊重しあう大切さ」を子どもたちにわかりやすく伝えます。

令和8年度 思いやり保育実施計画		清水こども園
令和7年度の反省・評価	・幼児クラスは朝の会で、全体で「思いやりのうた」を歌う機会を多く持て、子どもたちも自然と口ずさんで浸透していると感じた。 ・各家庭に思いやりカードを渡し、クローバーになって作品集にまとめて返却は家庭とも共有でき良かった。0歳児の保護者がコメント記入に難しさを感じていた様子だった。 ・集会は、乳児クラスには難しいと思うが、少しでも理解している姿があった。 ・劇は乳児も興味を持ってみていて良かった。内容やセリフもわかりやすく変更した。 ・田名地区合唱祭にぞう組有志が参加し「Omoiyariのうた」を披露し会場に感動が広がった。	
令和8年度の活動計画		
思いやり保育の目的	職員、園児、保護者が自然に思いやり三原則（手伝う・励ます・ありがとう）を実践し、思いやりにあふれたこども園を作っていく。	
思いやりテーマ	てつだう はげます あいがとう	
思いやり実践運動	今年度も、6月「てつだう」10月「はげます」2月「あいがとう」をテーマに活動していく。思いやり通信を定期的に発行し、思いやり三原則（手伝う・励ます・ありがとう）のありがとうに沿ってカードに記入していただく。 全体《思いやりハートオーナメント》 思いやり集会が行われる週を思いやり週間とし、ハートの提出を呼びかける。（年3回）子ども自身が好きな色の折り紙を選び、基本思いやり集会当日に子どもたちが折れるところまで折る。夕方、個人の専用の袋に入れて保護者へ渡し、保護者が続きを折り完成させ、メッセージを記入して1週間の間に提出してもらう。最終的に卒園式会場へ飾る。 地域のイベント参加者や、来園者、理事、評議員、卒園児などにも参加していただく。 クラス《思いやりカレンダー》 その日のおもいやりをハートに記入し貼る。（帰りの会や1日の中で振り返る）集会で内容を発表し、見せ合い意欲を高め合う。基本5～6月「てつだう」7月～10月「はげます」11月～3月「あいがとう」 絵本読み聞かせ 思いやり集会の日に園長が、決められたクラスで思いやりの心で絵本の読み聞かせを行う。6月ぞう 10月くま 2月うさぎ	
思いやり通信	今年度は年間4回発行し、6月てつだう 10月はげます、2月あいがとうについて具体的に示していく。また、クラス便りにもクラスの思いやり活動や言動を紹介していく。	
思いやり集会	ホールで思いやり集会を行う。（6/22・10/13・2/15）※乳児：集会は自由参加。今年度は「子どもの権利」をテーマにした「あたりまえ認定」のビデオをみて考える。 ・6/22（月）：園長先生の話、Omoiyariのうた クラスの思いやり発表、ビデオ「これってカワイイ？ヘン？」 各クラスビデオの内容について話し合う。絵本：ぞう ・10/13（月）：園長先生の話、Omoiyariのうた クラスの思いやり発表、ビデオ「こころのアラーム」 各クラスビデオの内容について話し合う。絵本：くま ・2/15（月）：園長先生の話、Omoiyariのうた絵本：うさぎ クラスの思いやり発表、ビデオ「おもっててもいえないよ」 各クラスビデオの内容について話し合う。絵本：うさぎ	
日常活動	・寝る前や帰りの会などにその日の嬉しかった事や、嫌だった事を発表する。（週2日以上） ・思いやりかるたの活用。	
思いやり保育テーマツグの展開	「Omoiyariのうた」：機会あるごとに歌っていく。（1ヶ月に最低1回は歌う）※曲を流す。 ・ありがとうのうたなど関連したうたをクラスで取り入れていく。 ・10/24（土）ぞう組有志が第2回田名合唱祭に参加し「Omoiyariのうた」を披露する。	
手伝う・励ます・ありがとう運動（職員対象）	楽しい、嬉しいの気持ちが思いやりにつながる ・日頃の面白いエピソードなどを職員間、保護者と意識して会話をする。 ・良いところに目をむけ、言葉に出していく。	

※活動計画は思いやり保育推進委員会議で決めていく。

※活動計画は思いやり保育推進委員会議で決めていく。